

2022年3月31日

各 位

双日株式会社

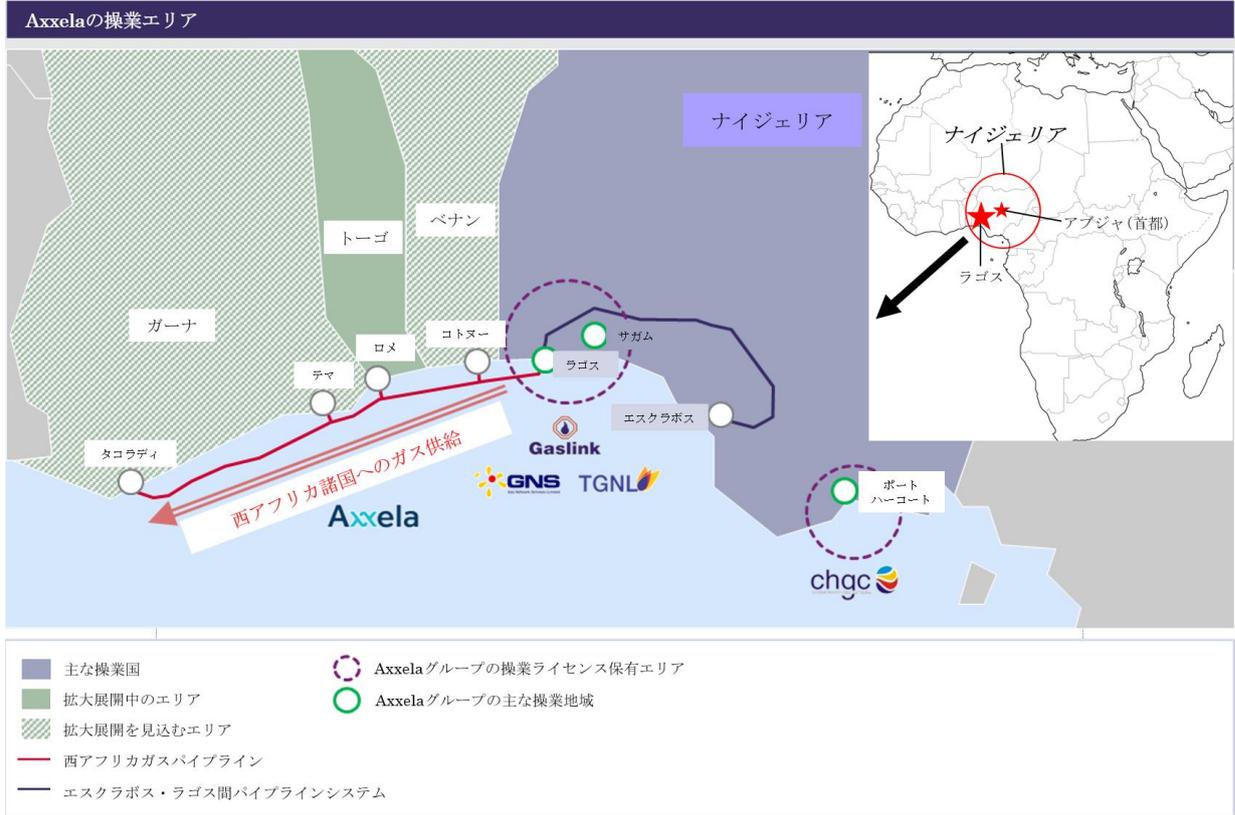
双日、ガス需要が高まるナイジェリアでのガス下流事業に参入
～燃料転換により CO2 削減に貢献する既存ガス小売会社への出資を通じて、
アフリカのエネルギー市場に参入～

双日株式会社（以下「双日」）は、このたび、オランダの中間会社株式取得を通して、ナイジェリアの産業顧客（主に工場）向けにガスを供給している ^{アックスセラ}Axxela Limited（以下「Axxela」）の株式 25% を取得し、急速な成長が見込まれるナイジェリアでのガス小売事業に日本企業で初めて参入します。（以下「本事業」）なお、本事業は、株式会社日本貿易保険（NEXI）による海外投資保険の付保を予定しています。

ナイジェリアは、世界第 10 位規模（190 TCF（※1））の豊富な天然ガス埋蔵量を有しているにもかかわらず、ガス供給インフラが整備されていないため国内でのガス利用が遅れており、原油を生産する際に発生する随伴ガス（※2）のうち年間 7,196 百万 m³ を利用しないまま大気燃焼せざるを得ず（※3）、大気汚染の一因となっています。一方、2050 年に同国の人口は 4 億人（世界第 3 位）に増加する見通しであり著しい経済成長が見込まれることから、国内における発電燃料および都市ガス用途として急速なガス需要の高まりが予想されます。

このような状況下で同国は、経済成長と大気環境改善を両立し推進すべく、国を挙げて国内でのガス利用の促進・随伴ガスの大気燃焼抑制を進める方針です。また、同国は先般の COP26 において「2060 年の CO2 排出ネットゼロ」を提言し、CO2 削減にコミットしています。

Axxela は、2001 年から操業を開始しているガス小売会社です。Axxela および傘下のグループ会社（以下「Axxela グループ」）は、ナイジェリアや近隣国トーゴを含めた西アフリカにおける 200 社超の産業顧客向けに 1 日あたり 2 百万 m³ におよぶガスを安定的に供給しており、顧客より高い評価を得ています。環境面においても、2018 年から 2020 年の 3 か年で顧客の利用エネルギーをディーゼルや重油からガスに転換することにより 1,700 千トンの CO2 削減に貢献しており（※4）、今後もビジネス拡大を通じて CO2 削減への貢献を目指しています。



【Axxela の操業エリアマップ】



【Axxela グループが操業しているパイプライン】



【丁寧なパイプライン保守・管理を徹底】

双日は、中期経営計画 2023 でマーケットイン志向を掲げるとともに、ベトナムで Sojitz Osaka Gas Energy Company Ltd. を設立し、ガス小売事業を継続してきました。そのノウハウを生かし、Axxela とともに、多様な顧客ニーズに応えられる「総合エネルギーソリューション事業者」を目指します。また、今回の株式取得元であり本事業のパートナーであるアフリカ特化ファンドの ヘリオス インベストメント パートナーズ Helios Investment Partners LLP と連携しながら、工業団地事業や発電事業といった他事業の展開も検討していきます。

双日グループは、2050年に向けた長期ビジョン「サステナビリティ チャレンジ」のもと、脱炭素社会実現に向けた対応方針を掲げ、脱炭素社会や循環型社会を見据えたビジネスの構築に取り組んでいます。今後も双日は、再生可能エネルギーによる発電事業・「洋上LNG貯蔵・再ガス化設備」事業・ターミナル運営事業・LNGトレーディングなど、これまで日本・海外における広範なエネルギー関連事業において蓄積したノウハウを活かし、CO2削減に資する燃料転換をはじめとした多様なエネルギーサービス・ソリューションの提供を通して、急速な成長が見込まれる西アフリカ地域でのエネルギー課題の解決と持続的成長への貢献を目指します。

(※1) TCF: ^{トリリオン キュービック フィート} Trillion cubic feet。ガス体積を表す単位。

(※2) 随伴ガス: 油層内に原油に溶存するなどの形で存在するガスが、原油の生産に伴って生産されるもの。

(※3) 随伴ガスの大気焼却: 生産後利用されない残余ガスを、活用することなく大気中で焼却してしまうこと。年間大気拡散量は世界銀行調べ、2020年度分。

(※4) Axxela 調べ。

(ご参考)

【Axxela Limited の概要】

会社名	Axxela Limited
操業開始年	2001年
本社所在地	The Wings Office Complex, East Tower, 8 th Floor, 17A Ozumba Mbadiwe Avenue, Victoria Island, Lagos, Nigeria
代表者	Bolaji Osunsanya
事業内容	ガス供給およびガス関連事業
2020年度連結売上	826億ナイラ (230百万米ドル相当 (※5))
2020年度連結当期純利益	7億ナイラ (18百万米ドル相当 (※5))

(※5) 1米ドル=380ナイジェリアナイラで換算

【Helios Investment Partners LLP の概要】

会社名	Helios Investment Partners LLP
設立年	2004年
本社所在地	2nd Floor, 12 Charles II Street, St James's, London, SW1Y 4QU
代表者	Tope Lawani / Babatunde Soyoye
事業内容	アフリカ特化のプライベート投資ファンド

【関連リリース】

- 2019年6月24日付リリース
「双日、大阪ガスとベトナムで天然ガス供給事業会社を設立」
<https://www.sojitz.com/jp/news/2019/06/20190624.php>

- 2021年3月11日付リリース
「ベトナム食品工場における燃料転換事業に参画」
<https://www.sojitz.com/jp/news/2021/03/20210311-01.php>

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-6871-3404